

スカウト おおいた

第57号

2020年 6月 7日 発行
日本ボーイスカウト大分県連盟
編集 県連総務委員会

「活動的で自立したスカウトを育てよう！」

公益社団法人 日本ボーイスカウト大分県連盟
コミッショナー 真田康広

三指。日頃よりボーイスカウト大分県連盟の活動に
対しましてご支援、ご協力を賜り心から感謝申し上げ
ます。いま、新型コロナウイルス感染拡大防止にあた
っては、ボーイスカウト日本連盟では組織をあげて状
況の推移に応じた対応に全力で取り組んでいます。日
本連盟、本県連盟から各団へ適宜連絡等を続けて参り
ますので、引き続き対応への協力をよろしくお願いし
ます。

日本連盟が2022年に創立100周年を迎えるにあ
たり長中期計画を策定して5年目を迎えました。本年
度も事業スローガン「活動的で自立したスカウトを育
てよう!」、とりわけ大分県連盟としては『災害にもそ
なえるスカウト』を目指したいと存じます。

重点施策は引き続き次のとおりです。

- 1) 社会から評価されるスカウトの育成
- 2) 隊・団指導者の充実
- 3) 会員の確保
- 4) セーフ・フロム・ハーム等スカウト運動の
社会的信頼の向上

昨年は、大分県連盟創立70周年を迎えての記念事
業として、多くのスカウト達を育てて来たくじゅう・
沢水にて野営大会を開催することができました。テー
マ「笑顔あふれる70周年 そして未来へ!!」に則り、
県下のスカウトが合同隊・班を編制し、日頃の活動の
成果を持ち寄り互いに切磋琢磨して、4泊5日の日程
でウッドクラフトや野外プログラムに取り組みました。
カブスカウト・ビーバースカウトも大会のなか日の一
日参加して、それぞれカブフェスティバル・ビーバー
デイ活動に頑張りました。同日は会場において、広瀬
連盟長の下、70周年記念式典も挙行でき、県連盟の
スカウト・指導者が一同に会する機会となりました。
実行委員会の設置から大会までの準備、天候に恵まれ
た大会期間、大会終了後の片付け、参加隊・業務班ご
との評価・反省等にまで、多くの方々の支援により挙
行できましたこと、改めまして感謝とお礼を申し上げ
ます。野営大会の運営が、スカウトの可能性を伸ばす
とともに、指導者のさらなる資質向上を目指し、九州・
沖縄野営大会、第18回日本スカウトジャンボリーへ

向け加盟員全員で創りあげ
た大会と総括します。

また、アメリカ合衆国ウ
ェストバージニア州で開催
された第24回世界スカウ
トジャンボリーには、隊長・副長（JP-28隊）
を含め9名のスカウトを日
本派遣団の一員として派遣できました。国際的な交流活
動を広げていく次なるステップに繋がるものと評価し
ます。

先日、ひとつの雑誌の記事が目にとまりました。ある
論客が今日の新型コロナ禍は「どうにもならない」こと
としてとらえ、「どうにもならない」という受動性こそ
「無心」に近い境地で、「無心」が不確実な世界を生き
抜くキーワードではないだろうか。とコラムを結んでい
ました。ふとボーイスカウトの野営（キャンプ）の一場
面一場面が心に浮かびました。私たちは大いなる自然の
なかでの野外活動を通じ、大切な力をたくわえ、磨いて
いると感じます。今年度も把手共行しボーイスカウト運
動の推進に取り組んで行きましょう！

弥栄



～お知らせ～

ボーイスカウト日本連盟より示されました「スカウト
運動における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイド
ライン」等をもとに、「スカウト活動再開へ向けた大分
県連盟方針」を策定し、今回「スカウトおおいた」の第
4面に提案いたしています。今後のスカウト活動再開へ
向けて団・指導者・ご家庭で十分ご活用下さい。

また、6月4日付けで「新型コロナウイルス感染への
対応について（第9報）～新しい日常に向けて～」がボー
イスカウト日本連盟より発表されました。特にこの中
では、地域の「学校」での対応を判断の参考として下さい。
とされていますので、県下各地域の状況を十分考慮した活
動再開へ進めて行けたらと考えます。

各団活動

中津第8団



4月5日、中止となって出来なかった BP 祭と入隊
上進式を短時間で行いました。アルコール消毒、マスク
の着用、間隔を開けての整列、保護者の協力もあり
真新しい制服姿のスカウト達には良いスタートとなりました。

杵築第1団



1月25日大分第1団ボーイ隊との混合編班でナイト
ハイクに参加、総合2位になりました。
雨の中頑張りました。!

別府第9団



夏休みの志高湖畔[4
Km] や秋のナイト
ハイク[10Km]も
完歩。そして12月1
5日は、南立石公園か
ら3Km 歩いてラクテ
ンチに到着、これで合
計27Kmとなった。

大つり橋を渡った後は、
足湯につかって心も
ほっこり。
高崎山や別府湾も見えた。



「チャレンジ30Km」はゴール前でストップ、
上進式も入隊式も延期のまま新年度をむかえた。

スカウトや保護者の方々と一緒に、また笑顔でハイ
キングに行ける日を楽しみにしている。

大分第1団



1月25日に行われた合同のナイトハイクで大分1団
はチェックポイント2を担当。

ポイントゲームではゲームの説明、計測などをベンチ
ャースカウトたちが手伝ってくれました。忙しいなか
時間を作って来てくれてボーイ達にカッコいい姿を見
せてくれました。

大分第2団



短歌で一句

「今だから 出来るスカウト 活動に
普段と違う ズーム会議よ」
VS 議長 山形理徳作



令和2年3月29日
ベンチャー隊から
ローバー隊への上進式
を行いました。5名の
ローバースカウトが
誕生しました。

1月は、大分県護国神社で新年ぜんざい会（鏡開き）
を行い、健康と安全をお祈りしました。
また12月に作った凧を大空に飛ばして、日本のお正月を満喫しました。

由布第2団

大分第5団



カブ隊3名。4月からボーイ隊に上進しました。
カブ隊3年間でチャレンジ賞に積極的に取り組みスーパーカブに変身できました。
心身ともに大きく成長したスカウトはボーイ隊でも活躍できると期待します



2月2日(日)、カブ隊は城島へスケートに行きました。
好天に恵まれスケート日和でした。スカウトの上達の早さに羨ましいやら嬉しいやらの隊長でした。青空の下、活発に活動できること有難さを感じます。スカウトが思い切りの笑顔で活動ができることを願ってやみません。

大分第9団



大分第9団カブ隊の活動を紹介します。
11月は、九重の星生山に登りました。全員、元気に楽しく登頂できました。天候にも恵まれ、とても気持ちの良い登山でした。

津久見第1団



毎年恒例となっています「歳末助け合い募金」
津久見第1団へは、県南3市（津久見・佐伯・臼杵）よりスカウトが参加していますのでそれぞれ3つの市に分かれて募金を行い、それぞれ3市の社会福祉協議会へ寄付しています。



また、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、リーダー会議はweb会議を活用して行っています。



スカウト活動再開へ向けた大分県連盟方針

令和2年 6月 1日

日本ボーイスカウト大分県連盟

1. 日本連盟要請文より(2020.5.15)

「新型コロナウイルス感染への対応について(第8報)」
緊急事態宣言の一部解除を受けて

各団での活動再開については、それぞれ県連盟において、自治体や地域の状況を踏まえ、現場の活動の安全や安心、信頼を考慮して活動再開へ向けた方針を示したうえで実行されるよう、組織的な対応をお願いいたします。各地域での感染状況、自治体等の情報などを把握し、特に学校の再開状況などにも考慮して活動の実施の検討をお願いします。

2. 大分県連盟方針

(1) 基本方針

- ① 各団においては、日本連盟『ガイドライン』に則り、速やかなスカウト活動の再開に努める。
- ② 『ガイドライン』中の4. 感染の予防と実践における【スカウト活動実施の判断】は、区分「感染観察」、活動判断「I」による。
- ③ 集会、会議等の施設利用をともなう活動は、大分県「5.26 対応について」に則り、入念な手洗いやマスクの着用などの感染拡大防止対策、収容定員の50%以下を徹底する。

(2) 活動の留意点

a. 主催者としての心得

①活動前の準備

- * 手指消毒液の備え付け
- * 換気の確認
- * 離隔距離の確保(1席分)

②活動中の感染防止(3密対策ほか)

- * 参加者個々への手指消毒の励行
- * 定期的な換気
- * 水分補給時の注意 ※飲料は個人で携行し、まわし飲みしない

③新たな活動様式(Web活用)

- * ボーイスカウト以上では、班会議、班集会での利用を研究
- * 指導者からスカウトへの支援ツールとしての利用
- * 指導者会議、ラウンドテーブル等での活用

b. 参加者としての心得

- * 日頃からの体調管理
- * 事前の体温検温
- * 手洗いの実施とマスクの着用

(3) 活動内容に応じた留意事項

8月末まで、キャンプや宿泊をともなう活動は自粛すること

〈根拠資料〉

(日本連盟)

- 1) スカウト活動における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン 20200524ver01
- 2) 新型コロナウイルス感染への対応について(第8報)(全県連盟宛 2020-22 教開)

(大分県)

- 3) 緊急事態宣言の解除に伴う5月26日以降の対応について
- 4) 段階的緩和の目安

(国)

- 5) 「安全に運動・スポーツをするポイントは？」(令和2年5月22日、スポーツ庁)
- 6) 学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル

～「学校の新しい生活様式」～

(2020.5.22 Ver.1)

このたび、日本連盟は政府等の情報を参考に「スカウト活動における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン 2020.5.24ver01」(以下、『ガイドライン』と示す)をとりまとめて発信しました。

これを承けて、大分県連盟としては、『ガイドライン』に則るとともに、大分県ならびに各市町村における対応を踏まえて、スカウト活動再開へ向けた当面の方針を定めましたので、お知らせいたします。

私たちにとってかつて経験したことのない状況が続く、活動もそれに合わせた工夫が求められています。「新しい生活様式」に沿った「新たなスカウティング」をともに探求し、この難局を乗り越えましょう。

引き続き、みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

※「3つの密」をすべて避ける活動内容を!

(①密閉空間 ②密集場所 ③密接した会話)

※感染リスクの高いキャンプなどの宿泊を伴う活動の中止!(8月末を目安 → 延長する可能性もあり)